

数理ウェーブ

平成28年4月23日(土) 13:30開場
名古屋大学 多元数理科学棟 509号室

14:00~15:00

舘野 荘平 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科 博士後期課程)

ガロア理論と体の広がり

足し算、引き算、かけ算、わり算の成り立つ世界を体と言います。この講演では体がどのように広がっていくのかをガロア理論や類体論の結果を用いて解説し、またそのようなことを考えることによって何がわかるのかということを中心にギリシアの三大作図問題などを交えて説明します。

15:10~16:10

小野 廣隆 (九州大学大学院経済学研究院 准教授)

P≠NP予想の話

P≠NP予想は、アメリカのクレイ数学研究所がミレニアム懸賞問題の一つとして取り上げたことにより、一般にも良く知られるようになりました。ミレニアム懸賞問題ということで、数学の問題としてとらえられることもありますが、この問題の発見自体は理論計算機科学と計算量理論の発展に伴ってなされたものです。今回のお話では「P≠NP予想」を通して計算量理論の紹介をしたいと思います。

* 参加無料

* 事前登録不要

—お問い合わせ—

名古屋大学研究協力部社会連携課

TEL 052-747-6484